



子どもの水辺サポートセンター の活動状況について

子どもの水辺サポートセンターの設立背景

子どもの自然離れが言われて久しい。とりわけ、水辺での子どもの賑わいはすっかり影を潜めてしまっています。高度成長期に進んだ河川水質悪化、治水機能重視の河川整備による川の魅力低下、学校にプールがつくられるようになった、「川へ行ってはいけません」的な指導、習い事などによる子どもの遊ぶ時間の減少など、子どもたちを取り巻く環境の変化が子どもたちを水辺から遠ざけてしまいました。

そのような中、水辺が持つ自然性が子どもたちの体験学習や環境教育の場として適しているということが、教育関係者や水辺を活動のフィールドとしている市民団体などに見直されてきています。しかしながら水辺はその自然性なるがゆえに危険が内在しており、水辺の活用を妨げるひとつの要因になっています。教育関係者や市民団体が安心して子どもを水辺にいざなうには、安全面を含めて、経験豊かな指導者が必要です。水辺を安全に子どもたちの学習の場とするには、川の指導者を含めた経験豊かな人の輪、救命具、学習グッズ等の資機材などが必要であり、活動をサポートする体制が是非とも必要だという声が高まってきました。

このような背景から「子どもの水辺サポートセンター」は、地域の方々、教育関係者、関係する行政関係者が連携して子どもたちの学習や自然体験の場を拡大し、子どもたちの体験活動の充実を図るために平成14年7月に（財）河川環境管理財団内に文部科学省・国土交通省・環境省の三省連携により設置されました。「子どもの水辺サポートセンター」では、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』施策の一層の推進や、資機材の貸し出し、人材のコーディネート、各種講習会等の開催、情報発信など、三省と連携し、様々な支援策を通じて、地域で活動する学校の先生や市民団体の皆さんの活動を支援しております。

『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』とは

『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』は、平成11年度から実施されている文部科学省・国土交通省・環境省の三省連携のプロジェクトで、「川に学ぶ」体験を推奨する観点から、教育委員会、河川部局、環境部局等が連携して、地域における子どもたちの体験活動の充実を図るものです。

地域の教育、とりわけ水辺体験活動に関わることを、立ち上げた「子どもの水辺」協議会において、河川管理者、地域行政、教育関係者等が一同に会し、直接顔を合わせて協議し、同じ方向を目指して子どもたちの河川利用の推進を図る制度です。

財団法人 河川環境管理財団

子どもの水辺サポートセンター

〒104-0042 東京都中央区入船1-9-12 河川環境管理財団2階 TEL:03-3297-2608 FAX:03-3297-2677 e-mail:misc@mizube-support-center.org

URL : <http://www.mizube-support-center.org/>



平成14年度子どもの水辺サポートセンター活動状況

①『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』関連事業

- * 「子どもの水辺」受付業務 (登録件数129)
- * 「子どもの水辺」推進会議の開催 (2回開催)
- * 「子どもの水辺」ブロック別連絡会議の開催 (中部ブロック連絡会議)

②各種講習会等の開催

- * 河川環境教育全国事例研修会 (幕張メッセ国際会議場にて開催)
- * プロジェクトWETの紹介 (大阪、東京にて実施)
- * 川のネイチャーゲームの開催 (総合的な学習の時間にて実施)

③団体支援事業

- * 子どもの水辺アイデア募集・夢の実現 (現在選考中)
- * 学校・子ども等の問合せ対応・人材紹介・情報提供 (問合せ 225件)
- * 資機材貸出業務 (ライフジャケット等を貸し出し)
- * 総合学習支援 (府中市四谷小学校にて人材派遣・資機材の貸し出しを実施)

④情報発信事業

- * 子どもの水辺サポートセンターパンフレットの作成・発行
- * ホームページの構築・運営
- * 各種DBシステム構築 (映像・副読本活用DB)

⑤情報収集事業

- * 環境学習資料収集 (副読本等)
- * 子どもの水辺国勢調査
- * 資機材整備

